

# キラリ人

西大路地区女性会会長  
 ひらおか ひろこ  
**平岡 浩子** さん (仁本木)



▲「女性会という仲間がいるから、楽しんでやっています」と笑顔の平岡さん。

西大路地区女性会では、「チャレンジ西大路！2,000人のごみ減量 めざせ一世帯一日100gのごみ減量」と題して、取り組みを進められています。平岡会長に話をお聞きしました。

西大路地区女性会（会員22名）では、「ごみを減らすために」「私たちに何ができるのか」を考え、「チャレンジ西大路！2,000人のごみ減量 めざせ一世帯一日100gのごみ減量」と題して、様々な取り組みをされています。

まず、「可燃ごみがどのくらい出されているのかを調べよう」と、平成19年5月から8月までと11月、12月の6か月間、西大路地区の集積所32箇所、集積所に記入表を吊るし、「ごみを出した人に袋数を記入してもらおう方法で、「可燃ごみの袋数の調査を実施。その結果、平均してひと月6,500前

後の可燃ごみ袋が出されていることが分かりました。また、5月と11月の2回、「ごみ処理施設「クリーンわたむき」に搬入された西大路地区の可燃ごみの重さを調査したところ、5月15日は1,076袋（4,060kg）に対し、11月13日は802袋（3,090kg）

でした。「例年、5月よりも11月の方が少ないそうですが、減少率が高いので、少しは記入表の効果があったのかな？」と、「ごみ減量の意識の高まりを感じた平岡さん。」

また、「可燃ごみの約30%が生ごみである」ことを知り、家庭から出る生ごみを減らす

うと、東近江市蒲生岡本町の岡田文伸さんを講師に招き、生ごみ処理の講習会を開催。実際に生ごみを使って堆肥づくりにも挑戦されました。

9月に行われた日野町工コライフ推進大会において、龍谷大学・笠文彦先生の話の必要性を改めて認識し、今度は古紙回収に取り組むことに。地区の中で、西明寺、音羽、熊野の自治会では既に古紙回収をされているため、それ以外の字で、業者の協力を得て回収が行われることとなりました。

12月8日に行われた一回目の回収では、3,610kgもの古紙が集まりました。「分別し始めたらどんどん溜まってくるので、定期的に集めてほしい」という声を受けて、今後も定期的な回収される予定です。

「女性会の会員さんをはじめ、自治会や地区の皆さんの協力があって出来ました。これからも皆さんの協力のもと、少しでもごみが減れば」と平岡さん。西大路地区のチャレンジは始まったばかり。目標達成の日は近そうです。



健康推進員  
 たけむら ひさこ  
**竹村 久子さん**  
 (鎌掛5区)

## ポイント

表面はカリッと、中はフワリとした食感で、魚嫌いの子どもでも美味しく食べられます。

## ヘルシークッキング



**材料(4人分)** 生サケ200g、長ねぎ1/2本、玉ねぎ40g、にんじん60g、卵1個、サラダ油大さじ1 1/2  
 ④【パン粉大さじ2、小麦粉大さじ2、しょうゆ小さじ1/2、塩小さじ1/2、こしょう少々】

## サケのハンバーグ風

**作り方** ①長ねぎ、玉ねぎはみじん切りにし、サラダ油大さじ1/2で炒めて冷ましておく。にんじんはすりおろす。②生サケは皮と骨を取り、細かく刻む。③ポウルに①、②、溶き卵、④を混ぜ合わせる。④③を4個に分け、小判型にまとめる。⑤フライパンにサラダ油大さじ1を熱し、④を入れ、中火で焼き、焼き色がついたら返して裏も焼き、火を通す。プチトマトやおろし大根などを添えて盛り付ければ出来上がり。

☆1人分エネルギー 163kcal  
 たんぱく質13.6g / 脂質8.1g  
 食塩相当量1.0g